



平成15年(2003年)

10/1

第1024号

発行：小平市

編集：企画財政部

広報広聴課

〒187-8701

小平市小川町二丁目

1333番地

☎042 (341)

1211(代表)

市報

こだいら



この秋、美術鑑賞は平櫛田中館で

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042 (342) 1222

第28回

小平市民まつり

ようこそ、お祭りストリートへ!



ふるさと小平の秋を華やかに彩る、恒例の小平市民まつりは、小平市民まつり実行委員会が主催し、小平市と小平市民憲章推進協議会が後援して、多数の団体の協賛・協力により、10月19日(日)にあかしあ通りを舞台として盛大に繰り広げられます。

わたしたちのふるさとづくりを目指し、18万市民が心をひとつに、交流と触れ合いの輪を広げる市民参加の楽しい催しです。家族で仲間で、みんなそろって秋の一日を満喫してください。

〈詳しくは、5・6面をご覧ください〉

10月19日(日)あかしあ通りで



ホッと!!

こだいら

安全・安心のまちづくり

◆変わる市の役割
小平市は今年、市制施行41周年を迎えましたが、この間に市の役割は大きく変化してまいりました。市制施行当時は人口増加に悩まされ、そのための対策がすべてでした。すでに決まっていた仕事を、どこから、どの順番で、安い費用で、素早く仕上げるかが至上命題でした。市道の舗装、学校建築、下水道の整備、保育園の建築等々ですが、これらの仕事は、市民全体が対象でした。

◆地方自治の動向
今後の地方自治の方向は、地域住民が負担した税金に見合った公共サービスが提供されたのかについて、おこたえできるものでないといわれています。

市制施行 記念日を迎えて

小平市長 前田 雅尚



◆新小平市づくり
小平市には、古い時代の遺跡があります。近代史は、ここで国の史跡に指定され今年開削350周年を迎えました。玉川上水の完成から始まります。その意味では、歴史は比較的新しく、伝統文化の少ない地域ですが、だからこそ、現代にふさわしい歴史と伝統文化を私たちは創造しなければなりません。

◆自治権の拡大は必ずの方向にあります。行政機関には質の高い行政執行能力が求められます。規模拡大の欠点としては、隅々まで住民意向が反映されにくいといわれています。その欠点を補う機構も工夫しなければなりません。

具体的には、住民自治と申しますか、住民自らが企画し実行する仕組みも考えられると存じます。しかし、どのように制度が変わっても市民の皆様に対するサービスの低下を招かない市政運営を基本とすることが、私の大切な役割と心得ております。

小平で生まれ育った人々が多くを占めるようになってきている今日、世界中どこに住んでも「自分の故郷は小平なんだ」と心に残る小平にしてまいります。10月19日(日)の市民まつりも、小平の新しい息吹が聞こえる民俗行事として根づくことを期待しております。